

3 各教科の現状と分析

令和4年度・日野市立仲田小学校 第1学年 授業創造プラン

	観 点	ワークシート	期待時点	児童の実態・良さと課題	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
国語	知識・技能	93	86	○知識・技能 ・ひらがな50音の読み・書きのテストでは、9割の児童が合格点をとることができた。ただ、書き順が正しくなかったり、字形が整わなかったりする児童が1割程度いる。語彙の知識においては、個人差が大きい。 ・助詞や長音、拗音、促音については、単元内で取り上げた時には理解できているが、文中で正しく書くことができない児童が3割程度いる。 ・音読については、ほとんどの児童が、教科書の文章をつかえることなく読むことができる。しかし、ひとまとまりの語や文として読むことが難しい児童がクラスに2、3名いる。 ○思考力・判断力・表現力 ・話すこと・聞くこと…話す内容を身近なことや経験したことから選ぶことができる児童が多い。しかし、内容を選ぶことが難しい児童もクラスに2、3名いる。聞くことにおいては、集中して聞き、相手の話したことに感想をもてる児童もいるが、個人差が大きい。 ・書くこと…経験したことから題材を選び、3文程度の文を書くことは、ほとんどの児童ができていた。順序や構成を考えて書くことが難しい児童もいる。 ・読むこと…ほとんどの児童が、内容の大体を捉えることができていた。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・楽しんで読書をする児童が多く、授業中も意欲的に音読や文字練習に取り組んでいる。自分の思いや考えを伝え合うことについては、すすんで行える児童とそうでない児童がいる。	・書き順や字形については、つまづきを丁寧に見取り、個別に指導していく。語彙については、読む時や聞く時に新しい言葉に着目したり、書く時や話す時にいろいろな表現を使ったりできるような視点を与えていく。デジタル教科書を効果的に活用する。 ・助詞や長音、拗音、促音については、視写や聴写などを取り入れながら繰り返し指導することで定着を図る。 ・音読については、「読むこと」と関連させながら指導し、文字を目で追いながら声に何度も出すことで、語のまとまりに気付けるようにさせていく。部分的に見せることで視点を絞るという工夫も取り入れていく。 ・児童の興味関心や伝えたい思いの強さを把握し、事例を具体的に思い出せるように、板書を工夫したり、個別に話を聞いたりしていく。聞くことにおいては、感想を伝えたり、質問したりする機会を意図的につくる。二人組で、話し手と聞き手のどちらになっているかを意識しながら、受けて返すやり取りを繰り返し経験させる。 ・常に相手を意識できるように、具体的な相手を示す。 ・書く時の順序を考えられるよう、文の構成を意識させる。また、友達と文を読み合う機会を増やすことにより、順序の大切さに気付くことができるようにする。 ・読むことに関しては、登場人物の行動や言葉に着目しながら音読する機会を多く取り入れる。デジタル教科書を効果的に活用し、どの児童も場面の様子や登場人物の気持ちなどが正確に捉えられるようにする。 ・読み聞かせや本の紹介などの読書指導を通して、本への興味を高める。音読や暗唱を継続して行うことで、様々な文章に触れる機会を作り、言葉への関心を高めていく。 ・自分の考えをもてたこと、伝えられたことなど児童一人一人の頑張りを価値付け、すすんで学習に向かう態度を育てていく。
	思考力・判断力・表現力	92	89		
	主体的に学習に取り組む態度				
算数	知識・技能	95	85	○知識・技能 ・10までのたし算、ひき算については、全員が理解し計算することができる。ただ、習熟が十分でなく、指やブロックを使って行っている児童もまだ1割程度いる。 ○思考力・判断力・表現力 ・ほとんどの児童が文章を読んで題意を理解し、立式ができる。しかし、文意を正確にとらえていなかったり、理解することが難しかったりすることで、立式を間違えてしまう児童がクラスに1割程度いる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・課題に興味をもち、すすんで取り組もうとする児童がほとんどである。しかし、自分の考えを説明したり、人に伝えたりする場面になると、主体的に取り組める児童は、半数程度である。	・問題文の文章の理解については、文に書かれている具体物をブロックなどの半具体物に置き換えて考えさせたり、○(マル)印に置き換えて図で示したりすることにより、言葉のイメージをつかめるようにする。算数に用いられる言葉を正しく理解できるよう、デジタル教科書を効果的に活用し、どの児童も題意を正確に捉えられるようにする。 ・計算に時間がかかったり、1ずつの数をたし・数えひきをしている児童に対して、具体物や半具体物を操作させながら、理解を確実にしたり、数をまとめて操作して計算できる練習をさせたりすることで、数の感覚を養っていく。また、身に付けさせたい言葉ややり方などは、繰り返し唱えて確実に習得させる。また、家庭と連携を図り、児童の実態に合った課題を選び、宿題として出すことで、学力の定着を図る。 ・学習したことを普段の学校生活の中で活用できる場面を意図的に設け、筋道を立てて考えることの良さや面白さを経験させる。また、自分の考えを言葉や図を使って説明することを繰り返し経験させ、筋道を立て、根拠を明らかにしながら説明することの良さを体験させるとともに、そのような行動をきめ細かく価値付け、一人一人が主体的に取り組もうとする意識を高めていく。
	思考力・判断力・表現力	90	84		
	主体的に学習に取り組む態度				
生活	知識・技能			○知識・技能 ・就学前の生活体験の蓄積の程度は個々の児童によって多様であり、その豊かさにも個人差が大きい。 ○思考力・判断力・表現力 ・同じものを見聞かしたときに、新たな気付きを得ることや、自分の感じたことを自分の言葉で表現することが難しい児童もいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・初めてのことに取り組むことや、仲間と一緒に楽しむことに対して前向きで、生活科の学習活動を楽しみにしている児童が多い。	・隣接している「仲田の森」をはじめ、地域の施設や自然を活用して、身近なものに関する知識の獲得を進めるとともに、適切な関わり方を知らせ、実践できるようにする。 ・国語や図画工作の活動や日常生活なども関連させ、見聞きするときの視点を示すとともに、児童同士の学び合いの中で思考・判断・表現の力を向上させる。 ・デジタル教材教具の正しい使い方を知り、表現思考の幅を広げる。 ・十分な体験を積むことができるようなカリキュラムデザインを作成するとともに、児童の思いや願いを十分に引き出せるような、学習教材や学習環境の工夫をする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能			○知識・技能 ・コロナウイルス感染予防の観点から、歌唱活動や鍵盤ハーモニカの演奏が十分行っていないため、全体的な評価はできないが、リズムに合わせて手をたたいたり、歩いたりできる児童は多い。だが、自分で拍を捉えられず、周りの友達に合わせている児童もいる。 ・鍵盤ハーモニカを使った活動も指使いやタンギングなど難しく感じる児童もいるが、全体的に楽しみなが取り組んでいる。 ○思考・判断力・表現力 ・リズムにのって言葉をつなげる活動は、多くの児童が楽しむことができる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・歌うこと、演奏することは好きな児童が多く、音楽に合わせて体を動かしたり、手をたたくといった活動にもすすんで参加している。	・わらべ歌や手遊びの歌、音やリズムを模倣する活動を常時的に取り入れ、正しい音程やリズムが心地よいと感じられるようにする。 ・慣習事項を生かし、リズムの違いや、音の高さや音色の違い、速さの違いなどに着目し、様々な音楽に触れ、楽しむことができるようにする。 ・感染予防に努めながら、歌唱や合奏の指導を行い、スモールステップで着実に力を付けることができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
図画工作	知識・技能			○知識・技能 ・表したいことを基に、材料や用具の特性を生かして作品を作っている児童が多い。手先の器用さや道具の扱い方においては、これまでの経験や発達の個人差が大きい。 ○思考力・判断力・表現力 ・自分の表したいことを創造的に発想し、工夫している児童がほとんどである。題材によっては、自分の表したいことが見付からず悩んでいる児童も数名いる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・意欲的に取り組み、題材や材料に関心をもって活動している児童が多い。	・手や体全体の感覚などを働かせて取り組めるよう、活動を工夫していく。また、道具の扱い方に関しては、基本的な使い方を繰り返し伝え、段階的に指導していく。 ・導入で、生活経験を思い出したり言語化したことを黒板に書くなどし、作品のイメージをもちやすいようにする。手が進まない児童に対しては、会話を通して児童の思いを引き出したり、友達の良い作品を紹介したりしていく。 ・より意欲的に取り組めるよう、教材や教具を工夫する。また、導入でも興味を引き付けるように提示の仕方を工夫する。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体育	知識・技能			○知識・技能 ・固定道具を使っている運動遊びやかけっこなど、複合的な動きのある運動については、個人差が大きい。学習を通して上達する児童が多い。音楽等に合わせたりリズムカルに動くことは、上手にできる児童が多い。 ○思考力・判断力・表現力 ・身体を使って、楽しみながら表現することや、動き方のコツをつかんで、練習に生かすことができる児童が少しずつ増えてきている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・運動に対する意欲は十分にあって、どのような運動にも、興味をもって積極的に取り組むことができていく。	・多様な動きを運動の中に取り入れ、基本的な体の使い方を体験・習得できるように、1単位時間の授業構成や単元の構成を工夫して授業を行う。複雑な動きのある複合的な運動については、発達の個人差を十分に考慮して無理のない指導を行うようにする。 ・学習の資料を工夫し、どの児童にも動きの仕組みやコツを具体的につかめるようにする。 ・毎時の授業の中で学習を振り返り、練習して上達することへの喜びが実感できるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別の教科 道徳	知識・技能			・道徳的な価値について、資料をもとに自分なりに考えようとしている児童は多く、自分の考えをすすんで伝えようとしている。 ・主題について、自分事として考えようとしている児童もいるが、お話の中の出来事と捉え、自分事として考えを深めることができない児童も少なくない。ようやく自分と他者の違いに気付き始めてきた。しかし、まだ自分を中心に他者との関わりを考えている児童も多い。いろいろな立場から考えを深めることはまだ難しい。	・興味・関心を持続できるよう、資料の提示を紙芝居風にしたり、映像を取り入れたりするなど、視覚化に努め、どの児童も参加できる授業にする。 ・自分事としての考えを表現しようとしている姿を認め励ますとともに、1年生の発達段階を踏まえて、教師が支援したり、補助したりしながら、考えを深められるようにする。 ・役割演技を取り入れたり、心情メーターを活用するなどの工夫をし、主題について自分事として考え、より主体的に取り組めるようにする。 ・少人数で話し合うことで、自分の考えをもてるようにしたり、いろいろな見方、考え方に触れたりできるようにする。 ・他教科や行事などとの関わりを考慮して年間指導計画を工夫し、道徳で学習したことを日常生活と関連付けて捉える機会を増やしていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別活動	知識・技能			・学級での係活動や当番活動では、自分の役割を理解し、すすんで活動する児童が見られる中、まだ忘れがちな児童もいる。 ・学校行事のねらいを理解し、意欲的に参加する態度が見られる。	・特別活動の中で、話し合いの仕方、自己の役割、当番の責任についての理解を深めることで、よりよい集団生活を送ることができるようにする。 ・児童が決めたきまりや目標について、日頃から意識をもたせることで、主体的に自己実現を目指す態度を養うことができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				

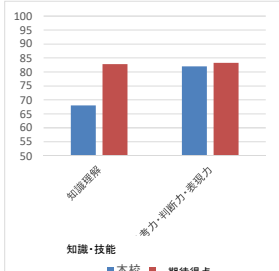
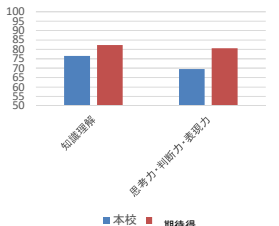
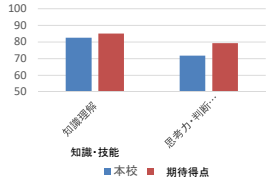
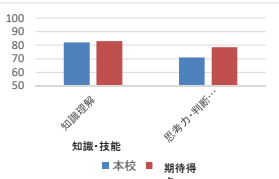
令和4年度・日野市立仲田小学校 第2学年 授業創造プラン

	観 点	ワーク テスト	期待 得点	児童の実態・よさと課題	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
国語	知識・技能	89	82.2	・「知識・技能」については、平均を上回っている。漢字や片仮名については、正確に読み書きできるようになった児童が多くいる一方で、十分に習得することができていない児童もいる。また、語彙については個人差が大きい。 ・「思考力・判断力・表現力」については、ワークテストの点数は平均以上となっているが、「読むこと」や「話す・聞くこと」、「書くこと」への能力が十分に身に付いていない児童もいる。どの領域でも、自分なりの考えをもって学習に取り組める児童は多くない。一方、それを表現することについては個人差が大きく、適切に表現できずにいる様子が見られる。特に、話すことや書くことにおいて、簡単な構成を意識して取り組むことや、相手意識をもって表現することについて課題が見られる児童がいる。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、すすんで読書をしたり、学習したことを日常生活や他の学習に生かそうとしている児童も多い。しかし、個人差はかなり大きい。	・新出漢字は、反復練習を行わせ、「とめ・はね・はらい」を意識して、正確に書くことができるようにする。また、他教科や生活の様々な場面で、文や文章を書く際には、既習漢字を使うように意識付け。 ・まず、少ない人数のなかで、意見を伝え合ったり、発表したりする活動を充実させる。話の聞き方について指導し、大事なことを落とさずに聞く習慣を身に付けさせる。 ・日記やワークシートなどで、思ったことや伝えたいことを書く活動を充実させる。付箋を使ったり、ワークシートを工夫をしたりすることで、文の構成を意識できるようにする。また、取材、構想、構成、叙述、推敲、清書の段階を丁寧に追うことで文章の書き方の基礎基本を定着させる。 ・図書の時間などを通して、様々な分野の本を手に入る機会を増やしながら、読書習慣の定着を図る。 ・中心となる語句や文を捉えるために、教科書に線を引かせたり、ワークシートに書き出させたりしながら、叙述に沿って読み進めることができるようにする。 ・タブレット端末をスピーチや音読の練習、漢字の練習などに効果的に使用し、自己の学習を自己評価できるような機会を増やす。
	思考力・判断力・表現力	89.5	84.5		
	主体的に学習に取り組む態度				
算数	知識・技能	90.5	82.8	・「知識・技能」については、たし算やひき算の筆算や量の単位を用いて的確に表現する力が身に付いてきている。一方で、1年生の既習事項の加法の繰り上がりや減法の繰り下りの計算が、十分に習得できていない児童がクラスに2～3名いる。また、量の単位を用いて的確に表現する力が十分に身に付いていない児童も若干名いる。 ・「思考力・判断力・表現力」については、文章題を読み解き、立式が正しくできる児童が多い。一方で、文章題の内容を理解できずに、立式が正しくできない児童も若干名いる。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、課題に興味をもち、すすんで取り組もうとする児童がほとんどである。ただ、自分の考えを説明する場面になると、主体的に取り組める児童は、半分程度である。	・計算プリントや、ICT機器を活用して、理解の程度に応じた反復練習をすることで、計算力の定着を図るようにする。また、学習の過程に算数的活動を多く取り入れ、量感を養う。 ・文章題の分かっていることや聞かれていることに線を引いて、問題の意味を正しく捉えさせる。 ・算数的活動を多く取り入れ、およその見当を付けたり、数の相対的な大きさについて理解できるようにしたりする。 ・学習したことを普段の学校生活の中で活用できる場面を意図的に設け、筋道を立てて考えることの良さや面白さを経験させる。 ・タブレット端末を活用し、自分の考えを図や式で説明し、それを交流するなどして、考えを伝える力を付けるとともに、いろいろな考え方に目を向けられるようにする。
	思考力・判断力・表現力	84	81		
	主体的に学習に取り組む態度				
生活	知識・技能			・「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」については、活動や体験について、観察カードなどに観察したことを書き込むことができる児童は多いが、そこから分かったことや、比べて感じたこと、これからの生活への結び付きなどの気付きを表現することができる児童は少ない。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、毎回の授業や体験活動を楽しみにし、課題に積極的に取り組める児童が多い。しかし、自分の興味関心によって、主体的に取り組むことが難しい児童も数名いる。	・一人一人の気付きを共有する場を設定し、「見付ける」「比べる」「たどる」などの多様な学習活動を取り入れる。教師がそれらを意識した言葉がけを行ったり、児童の変容を見取り、フィードバックしたりしていく。 ・一人一人の児童の思いや願いを丁寧に受け、対象との出会わせ方の工夫や児童の願いを大切に学習課題を設定する。また、体験活動と表現活動を相互作用させる単元構成の工夫を行うことで、気付きの質を高め、学習意欲が持続するようにする。 ・端末の写真機能などを活用し、ポートフォリオとして振り返りができるようにしていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能			・「音楽表現の創意工夫」については、曲想に合わせて歌い方や身振りを工夫して表現している児童が多い。曲の雰囲気を感じ取り、自分の表現に生かそうとする様子も見られる。 ・「音楽表現の技能」については、歌唱や楽器演奏を楽しみ、必要な技能をおおむね身に付けて表現できる児童が多い。一方で、手先の感覚が十分に身に付いていないために、楽器演奏に消極的な児童もいる。 ・「鑑賞の能力」については、音楽を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを、発言したり体で表現したりできる児童が多い。	・児童が曲想から感じ取ったことを大切にし、歌声だけでなく、表情や身体表現など様々な表現方法を工夫して指導する。 ・階名唱や部分的な運指の練習をさせたり、運指を示すカードやICT機器を活用して視覚的なモデルを提示したりして、スモールステップで練習を進める。 ・様々な音楽に触れる機会を増やし、互いの考えを共有することで、音楽の面白さや美しさを味わえるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
図画工作	知識・技能			・「知識・技能」については、表したいことを基に、材料や用具の特性を生かして作品をつくらしている児童が多い。絵の具に関しては、パレットの使い方や水の調整など、基本的な使い方がまだ身に付いていない児童もいる。 ・「思考力・判断力・表現力」については、自分の表したいことを創造的に発想し、工夫している児童がほとんどである。題材によっては、自分の表したいことが見付からず、固まってしまう児童も2～3名いる。 ・「主体的に取り組む態度」については、意欲的に取り組み、夢中になって活動に取り組む児童が多い。	・手や体全体の感覚などを働かせて取り組めるよう、活動を工夫していく。また、絵の具に関しては基本的な使い方を繰り返し、定着させるようにする。 ・イメージを膨らませる活動を十分に行ってから主活動に取り組ませる。自分の表したいことが広がらない児童に対しては個別に声掛けをしたり、補助的な素材を提示したりして児童の思いを引き出せるようにする。 ・導入の仕方や素材の提示の仕方を工夫することで、題材に興味をもたせ、自ら学びに向かう姿勢にさせる。友達のを作品を鑑賞し合う時間を設定し、よさを共有したり、新しい視点をもたせたりできるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体育	知識・技能			・「知識・技能」については、個々の技能の差が見られる。 ・「思考力・判断力・表現力」について、ゲームでは、チームで声を掛け合って試合をしたり、作戦を考えたりして、対話的な学習への一歩を踏み出すことができている。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、体を動かすことに意欲的であり、苦手なことへも挑戦する態度が見られる。また、安全に運動するための決まりを守り、場の準備や片付けも手際よく行うことができる。一方、主体的な態度でなかなか取り組めない児童も複数名いる。	・いろいろな運動や動きを体験させ、運動の楽しさを味わわせるとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けさせる。 ・ICT機器を活用し、モデルの動きをイメージしやすくしたり、自分の動きを見たりする機会を設け、体の動きを意識しやすくする。 ・補助運動などを取り入れ、スモールステップで授業を進めていきながら、個々の基礎的な運動能力を育成できるようにしていく。 ・めあてを明確に意識させたり、場の設定を工夫したりすることで、運動に意欲的に取り組ませる。 ・意図的にチームで行う運動を取り入れ、対話的な学習を進める力を付けさせる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別の教科道德	知識・技能			・児童が互いの考えを伝え合いながら、考えを深めていくことができる。 ・授業では、自分の考えをもち、発表したり話し合ったりすることができるが、そこで得た学びを生活の中で生かすのが難しい児童も若干名いる。	・教科書教材を活用しながら、児童にとって身近な問題を取り上げ、自分自身の課題として考えさせる。その中で、自分の考えをもたせてから、話し合いに参加できるようにし、意見や考えの深まりが得られるようにする。 ・ICTを活用し、互いの考えを視覚化したり、交流しやすくする。 ・発問やワークシートを工夫して、学んだことを実際の生活に生かせるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別活動	知識・技能			・当番活動や係活動ですすんで行うことができる児童がほとんどである。 ・学級や自己の課題意識をもち、解決や実践に向けてすすんで意見を発表したり、考えたりすることができる児童がいる一方、課題意識が薄い児童もいる。 ・司会や書記など、グループでの話し合いの経験が浅く、話し合いの進め方の理解がまだ難しい児童がいる。	・児童が話し合う必要性を感じる議題や課題を設定し、話し合いに入る前には、自分の意見や考えを明確にさせることで、自分事として考えられるようにする。 ・合意形成の図り方について、話の仕方、相手の話の聞き方、話のまとめ方などを段階的に指導する。また、振り返りの活動を必ず行い、良い点や課題を次に生かせるようにしていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				

令和4年度・日野市立仲田小学校 第3学年 授業創造プラン

	観 点	ワーク テスト	期待 得点	児童の実態・よさと課題	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
国 語	知識・技能	76	82	・知識・技能については、ワークテストの期待得点を下回っている。習熟に個人差が大きく見られ、普段の授業や生活の中で、既習の漢字を使えない児童が各クラスに数名いる。 「話すこと」においては、伝えたいことを明確にして、事実と自分の考えを分けて話すなど、話す技能が身に付いてきている。一方で、それらの力が十分に身に付いていない児童も若干名いる。また「聞くこと」においては、相手の話の中心を聞き取れる児童が多い一方で、それが難しい児童も若干名いる。 「読むこと」については、様々な分野の文章を読む児童、読書量が多い児童がいる一方、積極的に読書に取り組めない児童がいる。積極的に読書をする児童は、文意を正しく読み取れる場合が多い。文章を読んで、自分の考えをもつ児童が増えてきた。	・新出漢字の学習では、ただ反復練習をさせるだけでなく、漢字の成り立ちを調べさせたり、指書きでとめ・はね・はらいを意識させたりするなど、一つ一つの漢字の意味を伝え、正確に書くことができるようにする。またその際、漢字ドリルに載っている覚え方の手順を効果的に活用する。 ・文や文章を書く際には、既習漢字を使うように指導する。 ・漢字小テストを活用し、間違えた漢字の部位をチェックし、正しい形を覚えさせる。 ・端本のジャムボードやミラシードを活用し、教科を問わず、意見を伝え合ったり、発表したりする活動を充実させ、自分や他者の考えを比較したり、まとめたりする力を身に付けさせる。 ・相手や目的を意識して話し合う経験をグループやペアの学習を通して慣れさせていく。まず、指示や説明を最後まで聞いてから質問したり、活動を始めたたりすることを徹底して指導する。 ・中心となる語句や文を捉えるために、教科書に線を引かせたり、ワークシートやノートに書き出させたりしながら、取組に基づいて読み取ることができるようになる。 ・図書の読みなどを通して、様々な分野の本を手にとる機会を増やししながら、読書習慣の定着を図る。
	思考力・判断力・表現力	88	83		・見学の機会を大切に、地域で働いている方や、詳しい知識をもっている方から直接話を聞くことで、学びを深めたいけるようにする。 ・新出の用語や場所等の知識については、ICTを活用して、楽しく覚えれるようにする。その際、インターネット検索や、グーグルアースの地図機能などを活用する。 ・学習したことを新聞やパンフレットなどにまとめる活動を取り入れる。まとめる際にはポイントを抑えたり、実際の新聞やパンフレットを参考にさせたりする。 ・資料を読み取るための観点やキーワードを提示し、資料を比較・関連付けの学習の機会を増やすことで、考え方や解き方を身に付けさせる。またペアやグループで考えを話し合う機会を増やし、互いの考えを深めることができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度				
社 会	知識・技能	82	80	・地域調べを通して、学校の周りの様子や、日野市全体の特色に関心をもつ児童が増えた。一方で、体験していないことについては想像することが難しく、理解が深まらない児童も見られる。 ・方位や地図記号などの新しい知識については、興味をもつ児童が多く、自分でまとめた白地図にも地図記号を入れることができた。 ・見つけたことを、新聞に分かりやすくまとめることができるようになってきたが、自分の考えを書くことができない児童もいる。 ・比較・関連付けしなから資料を読み取ったり、理由を推論したりするのが苦手な児童が若干名見られる。	・児童の実態に応じた指導を行い、基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させる。 ・具体物を操作させたり、実際の生活の場面に置き換えて考えさせたりすることで、実感の伴った理解につなげられるようにする。 ・わり算の計算を繰り返し行うことで、習熟を目指す。 ・児童が興味・関心をもつて、すすんで問題に取り組むことができるように、発展的な課題も適宜取り入れる。 ・文章題では、「分かっていること」「求めること」を整理させることで、題意が正しく捉えられるようにする。 ・デジタル教科書を活用することで、図形の辺や角を視覚的に分かりやすくする。
	思考力・判断力・表現力	76	75		・個人で考える時間、グループで考える時間など、対話的に学習が深められる形を整えたい。考える時間を充実させる。 ・必要知識や考え方、計算の工夫の仕方などについて、普段の生活の中で体験的に理解できるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度				
算 数	知識・技能	92	88	・たし算・ひき算・かけ算の筆算について、確実に技能を身に付けている児童が多い。一方で、習得しきれていない児童、習得が難しい児童も見られ、個人差が大きい。 ・わり算では、わる数の九で答えを導き出すことが身に付き始めたが、あまりのあるわり算は、全体的に習熟が必要である。 ・かけ算の文章題では、単位量当たりの大きさや、それがいくつ分であるかについての理解が確実に深まった。 ・文章題では、題意を正確に読み取り、具体的な場面と捉えたり、考えたりすることが難しい児童がいる。 ・単元を学習している時は、スムーズに計算したり、課題を解決したりできるが、時間がたつと、やり方があいまいになったり、考えるのに時間がかかってしまったりする児童がいる。	・児童の実態に応じた指導を行い、基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させる。 ・具体物を操作させたり、実際の生活の場面に置き換えて考えさせたりすることで、実感の伴った理解につなげられるようにする。 ・わり算の計算を繰り返し行うことで、習熟を目指す。 ・児童が興味・関心をもつて、すすんで問題に取り組むことができるように、発展的な課題も適宜取り入れる。 ・文章題では、「分かっていること」「求めること」を整理させることで、題意が正しく捉えられるようにする。 ・デジタル教科書を活用することで、図形の辺や角を視覚的に分かりやすくする。
	思考力・判断力・表現力	86	84		・個人で考える時間、グループで考える時間など、対話的に学習が深められる形を整えたい。考える時間を充実させる。 ・必要知識や考え方、計算の工夫の仕方などについて、普段の生活の中で体験的に理解できるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度				
理 科	知識・技能	89	83	・身近な植物や昆虫などの生き物に対して、高い関心をもって学習に取り組んでいる。 ・総合的な学習の時間で蚕の飼育を経験したことで、実感を伴って、昆虫の成長や体のつくりを理解することができた。 ・自然の事物・現象について、差異点や共通点を見いだし、表現するなどして、問題解決を図ることができるようになってきた。 ・課題を捉え、それに対する予想を立て、観察や実験の結果を通して理解を深めていくことができる。 ・実験結果を図や表にまとめて表現する経験がまだ少なく、さらに経験を重ねることが必要である。	・身近な植物や動物について、実際に観察をするだけでなく、本やインターネットを活用して詳しく調べる。 ・他教科等と関連つけた学習計画を立て、実際の体験を通して、命の大切さを感じながら学習できるようにする。 ・観察や実験の際には、差異点や共通点に着目させ、問題解決につなげる経験をさらに積み重ねていくようにする。 ・「課題設定→予想→実験→考察→まとめ」の流れをその単元でも実施し、見直しをもつて主体的に学べるようにする。 ・予想、観察や実験の手順、結果、考察を表す文章表現や図、表などを例示し、児童が論理的思考の過程を表現できるようにする。
	思考力・判断力・表現力	87	80		・ピアノの音を合図にして児童を動かし、言葉や簡潔にしたりして、全員が集中できる時間帯をなるべく多く作っていく。 ・音楽の要素を授業の中で共通理解し、児童が鑑賞の良さを共有できるようにしていく。 ・リコーダーの指導の際には、必ず正しい姿勢と息使いを確認していく。また、技能が追い付かない児童に対して言葉掛けを行った。休み時間に呼んで個別練習を行ったりする。 ・小グループやペア活動する時間を取り入れ、クラスでの友達とも協力して学ぶよう指導する。また、活動でのやるべきことややらないといけないことを児童に明確に示し、できている児童を積極的に褒めるようにしていく。
	主体的に学習に取り組む態度				
音 楽	知識・技能			・音楽活動に対して、意欲や関心の高い児童が多い。一方で、集中力の持続が難しく、指示をしっかりと聞けなかったり、思ったことをすぐに口に出してしまう児童がいる。 ・音楽の要素を感じ取り、その良さや面白さを味わうことのできる児童が多い。 ・リコーダーの息使いに気を付け、美しい音色を求めようとする姿勢が見られる。一方で、指先の感覚が慣れていなかったり、器用ではなかったりする児童もいる。 ・友達と協力できる児童もいるが、特定の児童を嫌ったり、自分で勝手な活動をしたがる児童もいる。	・ピアノの音を合図にして児童を動かし、言葉や簡潔にしたりして、全員が集中できる時間帯をなるべく多く作っていく。 ・音楽の要素を授業の中で共通理解し、児童が鑑賞の良さを共有できるようにしていく。 ・リコーダーの指導の際には、必ず正しい姿勢と息使いを確認していく。また、技能が追い付かない児童に対して言葉掛けを行った。休み時間に呼んで個別練習を行ったりする。 ・小グループやペア活動する時間を取り入れ、クラスでの友達とも協力して学ぶよう指導する。また、活動でのやるべきことややらないといけないことを児童に明確に示し、できている児童を積極的に褒めるようにしていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
図 画 工 作	知識・技能			・「知識・技能」については、表したいことを基に、材料や用具の特性を生かして作品をつくる児童が多い。絵の具にも慣れていて、水分量や色の混色も自分のイメージに合わせて調整することができる児童が多い。 ・「思考力・判断力・表現力」については、形や色の感じを味わい、豊かな発想でのびのびと表現できる児童が多い。しかし、今までの経験値の違いから、材料からイメージを広げる時の柔軟性に大きな差がある。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、意欲的に取り組み、夢中になってつくる児童が多い。一方で、話を聞く姿勢がとれない児童や、班での準備や片付けなど基本的な動きができない児童も一部いる。	・児童の成長を見ながら、使う用具を増やしていく。新しい用具や材料を扱うときは安全面を配慮し丁寧に指導することで児童が安心して活動できるようにする。 ・多様な発想・表現ができるように様々な素材や感触を味わえる題材を取り入れ、児童の感性をいろいろな切り口から高め、育てていく。また、図り感のある児童に対しては個別に言葉掛けをして児童の思いを引き出せるようにする。 ・児童の性質に合った題材を選び、導入の仕方や素材を提示するタイミングなどをとし、児童が興味をもち、自ら学びに向かおうとする環境をつくる。 ・また、友達との作品を鑑賞し合う時間を設け、よさを共有したり、新しい視点をもたせたりできるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体 育	知識・技能			・体育が好きで、体を動かすことに意欲的な児童が多い。 ・安全に運動するためのきまりを守り、学習の準備や片付けは、協力して行うことができる。 ・グループ活動では、チームで声を掛け合って作戦を考え、ゲームでは励ましあひながら取り組み姿が見られた。 ・苦手な運動や動きがあると、取り組もうとしない児童がいる。いろいろな運動や動きを体験させ、運動の楽しさを味わわせるとともに、基礎的・基本的な技能をしっかりと身に付けさせていく必要がある。	・ワークシートを活用して、めあてを明確に意識させ、振り返りができるようにする。 ・振り返りを大切にする。新たな課題に気付くとともに、その課題の解決に向けた思考力・判断力・表現力を高めたいけるようにする。 ・チームで行う運動を意図的に取り入れ、みんなが安全に楽しむことができるルールを作成し、協力的対話的な学習を進める力が身に付けられるようにする。 ・場の設定を行い、スモールステップで授業を進めながら、一人一人が基礎的・基本的な技能が習得できるようにする。 ・タブレットを使用して作戦を立てたり、カメラ機能を使って動画撮影を行い、振り返りに使用する。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特 別 の 教 科 道 徳	知識・技能			・ワークシート等に自分の考えを記述することで、一人一人が自分の考えをもつことができている。 ・記述をもとに、児童が互いの考えを伝え合うことで、自分の考えと比べて、友達の考えを参考にし自分の考えを深めたりしていくことができる。 ・教材文の内容を自分のことに置き換えて考えることで、自分事として考えを深めることができる。 ・道徳の授業での学びを、普段の生活に生かしていることに課題が見られる。	・個別に考える時間を十分に確保することで、一人一人が自分の考えをもつ授業に参加できるようにする。 ・少人数での意見交換や全体での話し合いの場を設けることで、活発な交流ができるようにする。 ・教科書教材を活用しながら、児童にとって身近な問題につなげて考えさせることで、自分自身の課題として捉えられるようにする。 ・教師の発問やワークシートの発問を工夫することで、学んだことを実際の生活に生かせるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
外 国 語 活 動	知識・技能			・外国語や外国の文化や習慣などに興味をもって取り組むことができる。 ・外国語を使って話すことに意欲的に取り組むことができる。 ・簡単な英語（挨拶・数字）、を話すことができる。 ・外国語の正しい発音や話している内容を最後まで静かに聞くことに課題が見られる。	・外国語を発音したり聞いたりすることに楽しみながら取り組めるよう、歌、ゲーム、アクティビティなど、多様な活動を取り入れる。 ・他者と会話する活動を通して、コミュニケーション力を向上させる。 ・担任とALTが挨拶する姿を見せたり、ALTと挨拶させたりして、簡単な外国語を話す活動を毎時間設ける。 ・ALTを有効に活用することで、正しい発音を聞いて発声できるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特 別 活 動	知識・技能			・係や当番の活動を通して、他者やクラスの役に立とうとする意欲と実践的態度が育まれている。 ・自分の考えと違う考えが出てきたときに、折り合いをつけたり、その考えの良さを認めたりすることに個人差がある。	・児童の意欲や思いを大切にしながら、係や当番の活動を設定していく。 ・話し合いの仕方を体験的に学習できるようにする。 ・他者と意見が異なる場合における合意形成の関わり方について、話の仕方、相手の話の聞き方、話のまとめ方などを、体験的に学習できるようにする。 ・話し合う経験を積み重ねられるように、話し合いの場を設定していく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
総 合 的 な 学 習 の 時 間	知識・技能			・地域の環境や人材の協力を得て、蚕を飼育することを体験し、観察や成長のまをめをとることができた。 ・蚕を飼育した体験を、理科の昆虫の育ち方の学習に生かすことができた。 ・図書やインターネットを利用して、蚕の飼育について調べ、情報を収集したり、活用したりする能力において、個人差が見られた。 ・調べた内容から、さらに課題を見つけていくところでは、個人差が見られた。	・地域の環境、地域の人材を生かした自然体験活動を、これらも積極的に取り入れて、興味関心をもたせる。 ・実際に触れてみる。実物を観察するなど実体験に合わせて学習が進められるようにする。 ・図書の本を使用して調べる。また、インターネットを活用して、調べ学習をすすめていく。情報の選択手段が難しいと思われる場合は、事前に教師から必要な情報を提示して、スムーズに学習が進められるようにする。 ・個人で調べを終わったりはせず、調べた内容を交流させたり発表させたりして、自分の考えをより深める。また発達の手段として、端末を使用して、成長のまをめとして活用する。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				

令和4年度・日野市立仲田小学校 第4学年 授業創造プラン

観 点		ワーク テスト	期待 得点	児童の実態・良さと課題 【 内記述は、児童生徒の学力向上を図るための調査（東京都）の結果より】	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
国語	知識・技能	68	82.8	 「知識・技能」については、期待得点を15ポイント下回っている。十分に習得することができている児童がいる一方、漢字の習熟や語彙については、定着につまずきの児童も多く見られる。【学習の進め方についての問いで、分からない言葉があればすぐに調べようとしているとの回答は、当てはまらないとの回答が半数を超えている。】 「思考力・判断力・表現力」については、全国平均を1ポイント下回っている。文章を正確に読み取る児童が増えている。しかし、普段の授業の様子を見ると、考えたり、学んだことを表現することについては、個人差が大きく、自分の考えを伝えることや、相手意識をもつこと、構成を考慮することについては、十分に身に付いていない児童もいる。 「主体的に学習に取り組む態度」については、自分の考えをもつて取り組める児童や、分らないことと分かるようにする前向きな気持ちをもてる児童が増えつつある。【確実に行けるようになるまで繰り返し練習しているとの回答は、56.6%にとどまり、課題解決に向けて、自分の学習を振り返りながら粘り強く取り組むことについては課題がある。】	・新出漢字の学習では、反復練習のみでなく、その漢字のもつ意味や、注意するポイントを考えさせ、能動的に学習できるようにする。また、他教科や生活の様々な場面で、文や文章を書く際には、既習漢字を使うように意識付けする。 ・1回の漢字小テストの出題数を減らし、努力が結果に結び付きやすくする。 ・語彙の獲得については、図書の時間や朝学習を通して読書習慣の定着を図る。「話すこと・聞くこと」については、少人数での交流の場を意図的に設け、目的のあてを明確にする。 ・「書くこと」については、付箋を使ったり、ワークシートの工夫をしたりすることで、文の構成を意識できるようにする。また、取材から書きまでの一つ一つの段階を丁寧に追う。 ・「読むこと」については、中心となる語句や文を叙述するために、教科書に線を引かせたり、ノートに書き出させたりしながら、叙述に基づいて読み取ることができるようになる。 ・粘り強い取組を相互に促すように、学習の見通しやゴールを明確に示す。また、学習の途中で自己評価・相互評価の場を設定し、自分の学習を振り返らせるようにする。 ・友達同士の教え合いや個に応じた課題の設定を行い、「学び合うと楽しい」「努力すればできる」という経験を積ませる。
	思考力・判断力・表現力	82	83.3		
	主体的に学習に取り組む態度				
社会	知識・技能	76.5	82.3	 1学期に実施したワークテストは、期待得点と比較して、「知識・技能」は約6ポイント下回っている。地図の見方や方位についての知識、都道府県の名前や位置を正確に覚えることなどに大きな個人差が見られる。 「思考力・判断力・表現力」については、全国平均を1ポイント下回った。社会的な出来事や自分のことと結びつけて考えられていないと、発言が少なかったり、消極的になったりする傾向がある。学習したことをノートにまとめる活動は上手にできる児童が多く、表現する力は付いている。 「主体的に学習に取り組む態度」については、作業や調査活動にすすんで取り組むことができる。一方で、社会的な事象から課題を見付けたり、粘り強く解決しようという主体的な学びには、課題がある。【社会科の学習が得意かどうかの問いに対し、どちらかといえば得意ではない、得意ではないとの回答が学年全体の3分の1を超え、学習意欲の向上に努める必要がある。】	・47都道府県を漢字で正確に書けるように、国語科の「カンジロ博士の都道府県の旅」と関連付け、意欲を高める。また、地図帳を活用し、その土地がどのような場所か理解を深める指導をする。 ・社会科見学や出前授業を積極的に取り入れ、その道のプロの方と連携し、社会的課題について、より具体的に自分事として捉え、主体的に考えたいよう指導する。また、オウリングやムーブメントを活用して、課題を明確にし、互いの考えを伝え合ったりして、課題を自分のものとして捉え、思考を深める問題解決型の学習を展開する。 ・一人1台の端末の機能を活用し、学習したことをどのようにまとめで他人へ発信するか方法を考える手段を増やす。ハンズフリー、新聞、マップ以外に発信できるように指導
	思考力・判断力・表現力	69.5	80.5		
	主体的に学習に取り組む態度				
算数	知識・技能	82.6	85	 「知識・技能」に関しては、全国平均との差はマイナス2.4ポイントと小さい。1学期に学習した「わり算の筆算」「角の大きさ」小数は、各領域の基礎となる内容であり、今後定期的な練習していくことが必要である。 「思考力・判断力・表現力」については、全国平均を7.4ポイント下回っている。問題を正しく解くことができて、考え方を図示することや、それを順序立てて説明することに慣れない児童が多い。【数調調査においても、問題文の内容を図や表、グラフに表して考えていると回答した児童は56.7%にとどまっていて、授業改善の課題として考えられる。】 「主体的に学習に取り組む態度」については、問題解決の過程を大切にすることを意識していくことが必要である。	・けや教室の活用や一人1台端末の活用を通して、個々の習熟度に応じたドリル学習を取り入れ、知識・技能の定着を図る。2学期3展開の習熟度別指導を行う。 ・算数的な考え方を身に付ける場面では、視覚的に捉えわかるよう、黒板掲示の教材を工夫したりやデジタル教材を活用したりする。また、個人で考える自分の考えを整理する時間、少人数のグループで互いの考えを伝え合い学び合う時間など対話的に学習が深められる形態を工夫する。 ・「分かるまで考える」「できるまで取り組む」時間をより充実させ、「分かった」という気持ちを高める。
	思考力・判断力・表現力	71.9	79.3		
	主体的に学習に取り組む態度				
理科	知識・技能	82	83	 「知識・技能」に関しては、期待得点との差はマイナス1ポイントと小さい。【算数の基礎となる内容である。】 「思考力・判断力・表現力」については、自分の思いや意図を表現したり、音楽の要素を感じ取ってその良さや面白さを感じる児童が多い。一方で、思いや意図はあっても、表現する力が苦手な児童もいる。 「主体的に学習に取り組む態度」に関しては、友達と協力できる児童も多いが、自分主導な活動をしている児童もいる。また、音楽活動に対して、意欲や関心の高い児童が多い一方で、集中力の持続が難しく、指示をしっかりと聞けなかったり、思ったことをすぐに口に出してしまう児童もいる。	・学習のねらいを絞り、見通しをもって学習に取り組めるようにするために、授業の展開や教材準備を児童の実態に応じて工夫していく。一人1台端末を用いて映像教材を活用させ、科学的な事象を焦点化し、視覚的に捉えようとする。 ・「課題・予想・計画・実験・結果・考察」と順序立てて学習を進め、課題解決型学習を通して、実感を伴った理解を深めさせていく。 ・学習課題やそれに対する予想、観察・実験の手順、結果などの提示の方法やノートのまとめ方を工夫し、児童が論理的に思考しながら、学習を進められるようにする。また、実験の結果から考えたこと、予想と比べて考えたことなどを記述する活動を取り入れる。
	思考力・判断力・表現力	71	78.5		
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能			「知識・技能」に関しては、自分の思いや意図を音楽で表現するための技能を身に付けている児童が多い。また、リコーダーの息遣いに気を付け、美しい音色を求めようとする姿勢が見られる。一方で、指先の感覚が慣れないなかったり、器用ではなかったりする児童もいる。 「思考力・判断力・表現力」に関しては、自分の思いや意図を表現したり、音楽の要素を感じ取ってその良さや面白さを感じる児童が多い。一方で、思いや意図はあっても、表現する力が苦手な児童もいる。 「主体的に学習に取り組む態度」に関しては、友達と協力できる児童も多いが、自分主導な活動をしている児童もいる。また、音楽活動に対して、意欲や関心の高い児童が多い一方で、集中力の持続が難しく、指示をしっかりと聞けなかったり、思ったことをすぐに口に出してしまう児童もいる。	・リコーダーの指導の際には、必ず正しい姿勢と思いがけを確認していく。また、技能が追いつかない児童に対して言葉掛けを行ったり、休み時間に練習させたりする。 ・音楽の要素を授業の中で共通理解し、児童が音楽の良さを共有できるようにしたり、自分の思いや意図を表現する音楽を随時伝えたりする。 ・小グループやペア活動する時間を取り入れ、クラスのどの友達とも協力して学ぶよう指導する。また、活動での振り返りや振り返りシートを児童へ示し、児童への言葉を簡潔にしたり、簡単なリズムの反復で注目させるようにして、全員が集中できる時間を多くつくる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
図画工作	知識・技能			「知識・技能」については、用具や材料の特徴を生かし、工夫して表現できる児童が多い。新しい道具に対しても、興味をもって積極的に使用しようとする姿勢が見られる。 「思考力・判断力・表現力」については、自分らしい表現方を考えて、のびのびと発想できる児童が多い。しかし、題材によっては、どうしても自分から固まってしまう児童もいる。また、見通しをもって活動を進めていくことが全体的に苦手である。 「主体的に学習に取り組む態度」については、どの課題にも意欲的に取り組める児童が多いが、主体的に自分のイメージを深めようとする児童は半数程度である。また、まだ話を聞く姿勢を保てない児童、紙での片付けを人任せにしている児童等も一部いる。	・児童の成長に合わせて使う用具を増やしていく。また、新しい用具や材料を扱うときは安全面に配慮し、丁寧に指導することで児童が安心して活動できるようにする。 ・できるだけ多様な題材に取り組ませることで、児童の感性を高め、向上していくようにする。また、作業が進まない児童には、個別に対応し、スモールステップを経て、経験値を上げていく。 ・板書や発問を工夫して、少しずつそれぞれが見通しをもつことを意識できるようにする。 ・児童の実態に合った題材を選び、導入の仕方や素材を提示するタイミングなどを工夫し、児童が興味をもち、自ら学ぶようとする環境をつくる。また、授業規律を守る事を繰り返し徹底し、指導していく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体育	知識・技能			「個々の技能に差はあるが、基礎的な技能を身に付けている児童が多い。」 ・自分の課題を見付けられた様子。課題解決に向けて工夫したり、考えを伝えたりすることは課題である。 ・すすんで運動に取り組む児童が多い。きまりを守ったり、仲間と協力して運動しようとする態度をさらに育てる必要がある。	・1単位時間に示す技能のポイントは1～2つとし、スモールステップで段階的に指導する。 ・学習カードを工夫し、めあてと振り返りを行っていく。その際、めあてと振り返りが結び付くように指導する。 ・児童同士やチームでの学び合いの例、何を伝え合えばよいのか明確にする。 ・きまりを守るよさや協力するよさに気付けるように、よかったことを具体的に伝え、提示したり、準備や片付けにかかった時間やよいポイントを数値で伝えたりと視覚化する。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別の 教科 指導	知識・技能			・自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりすることで、多様な考え方があることに気付く児童が増えた。 ・価値について理解している様子は見受けられたが、自分事として考えることや、自己の経験と結び付けて考えることは今後の課題である。 ・その場での登場人物の気持ちや心の葛藤について、自分の言葉で話せる児童が増えてきているが、人物の気持ちを伝えにくい児童もいる。	・自分事として考えられるように、今までの経験についてペアやグループでの話す時間を取り入れた。身近ないくつかの場面を提示したりする。 ・発問を焦点化し、何について考えるのか明確にして考えをもたせる。 ・話したい、聞きたいと思える場面（葛藤場面など）を取り上げ、自分の立場をはっきりさせて議論させる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
外国語活動	知識・技能			・外国語を話したり聞いたりすることに、興味・関心をもっている児童が多い。 ・自信がなく、恥ずかしがって積極的に参加できない児童や、話されている内容が分からずに消極的になる児童も多い。 ・たとえ外国語がうまく話せなくても、身振や手振り、表情を付けるなどして、自分の思いを伝えようとする気持ちを育てていく必要がある。	・ゲームや歌などを取り入れて、楽しく外国語の発音に慣れる機会を作っていく。 ・視覚的な資料や映像を活用したり、スモールステップで活動を展開したりすることで、少しずつ抵抗感を減らしながら参加できるようにしていく。 ・ALTの先生との交流を通して、外国語を聞いたり、話したりする機会を増やす。 ・非言語コミュニケーションの大事さを伝えたとともに、ミニゲームや児童同士の交流の場を設定し、「伝わった」という経験を積ませる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別活動	知識・技能			・学習会では、話し合いの仕方を理解し、見通しをもって話し合うことができるようになってきている。自分の考えと違う意見が出たときに、折り返しをとり、他の意見の良さを認めたりすることが苦手な児童もいる。自分達で決めたことを生活面で実践することに楽しさや、やりがいを見だしている児童が増えた。 ・学習での生活においては、個人差が大きく、自分を見つめたり、なりたつ自分に向けて努力している児童が増えてきている。一方、難しい児童もいる。	・学習会では、児童の問題意識を高められるように、事前の活動を充実させる。 ・学習会後の教師の指導発言を適切に行い、次の話し合いに生かせるように積み重ねていく。 ・学習の生活においては、事前に題材を提示し、問題意識を高められるようにする。個人目標の設定後に、目標実現に向けての過程で、児童同士の認め合いや教師の励ましを行い、意欲を高める。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
総合的な 学習の 時間	知識・技能			・探究の視点が見出しに示されれば、課題設定や探究活動の見通しをもって活動することができる。 ・学習課題が身近なものであるほど、興味・関心をもって探究活動に取り組むことができる児童が多い。今後も、郷土に対する意識、郷土の一員としての意識を育み、人、もの、ことに課題意識をもつきっかけをつかめるようにする必要がある。 ・探究活動で得たものを整理したり、結び付けたりして思考を広げることについては、まだまだできていない児童が多い。	・具体的課題を見付けられるように体験活動を充実させ、身近な環境や地域の人々との関わりから自分事として探究活動に取り組むよう指導できるようにする。 ・インターネット、電子ニュース、図書、取材、体験など、情報収集の方法の選択肢増や、その場の探究に適した調べ方、また、方法を自分意識して学習を進めていく。 ・調べたことを個人のなかで仕分け終わるのではなく、協働的にまとめたし、発信したりして、学び合える場をつくる。 ・探究活動の各過程でクロソウの機能を活用し、学習の幅を広げることができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				

令和4年度・日野市立仲田小学校 第5学年 授業創造プラン

	観 点	日野市学力調査		児童の実態・よさと課題 【()の記述は、東京都「児童生徒の学力向上を図るための調査」の結果】	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
		本校	市平均		
国語	知識・技能	69.6	67.8	・「知識・技能」は、日野市平均値を1.8ポイント上回っている。しかし、既習の漢字や熟語を忘れてしまっている児童が目立つ。また、言葉の意味も考えながら覚えていく「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えていく」の項目で、当てはまる割合が都の平均よりも下回っていた。】家庭学習や、チャレンジタイムなどを活用して、復習を定期的に行う必要がある。 ・「読むこと」については得意にしている児童が多く、内容や要旨を把握しながら読む力が付いている。 ・「書くこと」に対して苦手意識をもっている児童が多い。自分の考えが伝わるように筋道立てて書く力を付けることが課題である。その際、助詞や接続詞の使い方など、基本的な言語事項を確認し、分かりやすい文章を書くようにしていく。 ・「話すことや聞くこと」については、大事なことを伝えたり聞き取ったりできるように、相手意識を育てていくことが課題である。	・既習漢字の定着には復習が欠かせない。家庭学習に加え、学校でもチャレンジタイムを活用して、既習漢字を復習する時間をもつことで、定着を図っていく。また、語彙を増やすために漢字学習の際に言葉調べを行っていく。 ・自分の考えを書く機会を意図的・継続的に設け、「書く力」を付ける。国語科の授業を中心に、感想、意見文など、自分の考えを書く学習を積極的に取り入れていく。 ・誰に、何を伝えたいのかを明確にして、相手意識をもって表現できるようにする。また、相手の話の大事なところを落とさずに聞く力を育てていく。
	思考力・判断力・表現力	64.9	62.8		
	主体的に学習に取り組む態度				
社会	知識・技能			・「知識・技能」については、日本の地理的環境や産業の様子について、概ね理解できていると考えられる。日頃の学習活動から、資料から情報を読み取る力も付いてきた。 ・【都の調査では「社会の授業の内容はどれくらい分かりますか」の項目で、「よく分かる」「どちらかといえば分かる」の割合の合計が約90%であった。】 ・「思考力・判断力・表現力」については、日頃の学習活動から、産業が抱える課題と国民生活との関連について言葉で表したり、考えをもったりすることに課題があると考えられる。 ・「主体的に学習に取り組む態度」では、他教科と比べて、授業中に積極的な発言が見られる。一方で、すべての児童の意見や考えを学習中に共有できているわけではない。	・新しく出てきた用語などを覚えられよう、視聴覚資料を活用してより印象に残るようにするなどして理解を助ける。 ・授業の中でニュースや時事、外国での出来事などについても触れ、児童が興味・関心をもてるようにする。身近な地域に目を向けて課題意識をもてるようにする。 ・一人1台の端末を活用し、児童の意見や考えが数多く共有されるような学習活動を積極的に展開していく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
算数	知識・技能	73.3	70.3	・「知識・技能」は、日野市の平均値を3.3ポイント上回っている。基本的な計算などはできている。しかし、習熟度の高い児童と低い児童で二極化している傾向がある。 ・【都の調査では「テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を運んで、特に練習していく」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が約65%に対し、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の割合は約35%であった。】 ・「思考力・判断力・表現力」は日野市の平均を1.1ポイント上回っている。課題解決に向けて意欲的に学習に取り組む児童が多い。しかし、式の意味を読み取ったり、既習事項を基に考えたりすることが苦手な児童もいる。	・基礎・基本の習熟が確実にできるように、授業の中での習熟を図る。また、チャレンジタイムで基本の問題を行い定着を目指す。 ・習熟に個人差が見られるため、レディネステストの指導を生かし、習熟度ごとにその傾向に沿った学習活動を展開する。 ・自分の考えをもち、他者に伝える対話的な活動を取り入れる。一人1台の端末を効果的に用いて、自分の考えだけでなく、友達への考えにも積極的に触れる機会を作ることで、学習の内容をより深いものにする。
	思考力・判断力・表現力	41.0	39.9		
	主体的に学習に取り組む態度				
理科	知識・技能			・「知識・技能」については、理科的事象における基本的な意味や知識をほとんどの児童が身に付けている。 ・「思考力・判断力・表現力」については、実験の計画を考えたり、生活経験や知識をもとに予想を立てたりする学習に課題が見られる。 ・【都の調査では「理科の学習はどれくらい得意ですか」の項目で、「得意」「どちらかといえば得意」の割合が約8割を超えていた。】 ・「主体的に学習に取り組む態度」では、すすんで観察したり実験に取り組んだりする態度が毎時間見られる。	・問題解決の学習の流れを大切にしつつ、実験や観察活動を取り入れて学習活動を進めることで、興味・関心をもって取り組めるようにする。 ・5年生では、主に実験方法を考える活動を重視することで、科学的な思考が身に付けられるようにする。その際は、条件制御の考え方をしっかりと確認して進めていく。 ・予想や考察の場面などで、一人1台端末を活用し、表現活動を行い、対話を通して思考を深められるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能			「知識・技能」に関しては、自分の思いや意図に合った音楽を表現する技能が身に付いている。また、リコーダーの息のかいに気を付け、美しい音色を求めようとする姿勢が見られる。一方で、指先の感覚が備わっていないかったり、器用ではなかったりする児童もいる。 「思考力・判断力・表現力」に関しては、音楽の要素を感じ取り、その良さや面白さを味わうことのできる児童が多い。 「主体的に学習に取り組む態度」に関しては、友達への発言や演奏の良さを認めてあげられる児童が多く、音楽活動に対して意欲や関心も高い。集中力の持続が難しく、話を聞いていないかったり、音に対する反応が鈍かったりする児童がいる。	・リコーダーの指導の際には、必ず正しい姿勢と息づかいを確認していく。また、技能が追いつかない児童に対して言葉掛けを行ったり、休み時間に練習させたりする。 ・音楽の要素を授業の中で共通理解し、児童が鑑賞の良さを共有できるようにしていく。 ・小グループ活動を取り入れ、協働的な学びができるようにしていく。また、簡単な手拍子の反復する学習を繰り返したり、言葉掛けなどに気を付けたりして、全員が集中できる時間帯をなるべく多くつくっていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
図画工作	知識・技能			・「知識・技能」については、自分が表そうとすることに合わせて、材料や用具を選び工夫することができ。 ・「思考力・判断力・表現力」については、道具や素材の特徴を捉えて、自分らしく豊かに発想できる児童が多い。しかし、抽象的なテーマに対しては、一般的な記号の構成などで終わってしまう児童も一部いる。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、意欲的に夢中になって取り組んでいる児童が多い。また、鑑賞会では友達への作品の良いところを見付け、伝え合うことを楽しむことができた児童が増えた。	・児童の成長を見ながら、使う用具を増やしていく。新しい用具や材料を使うときは安全面を配慮し丁寧に指導することで児童が安心して活動できるようにする。 ・色の特徴や形の面白さに気付ける題材を取り入れていく。題材によっては、使う色や素材を限定することにより、その中でできる表現方法を自ら発見し、自分のイメージに合わせて活動を深めていくようにする。 ・興味をもって制作に臨める導入を行い、制作意欲を高めていく。また、メリハリのある授業展開にし、一つのテーマについて多面的に深めていく面白さを学ばせる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
家庭	知識・技能			・家で、家族のためにできる仕事に取り組んでいる児童が多い。 ・家庭科で習得した知識や技能を家庭生活に生かしたいという意欲的な児童が多い。 ・手先の器用さが必要になる裁縫で、段取りよく作業できる児童もいれば、苦手な児童もいる。お互いに教え合いながら課題に取り組んでいる姿が見られる。	・裁縫では、技術を丁寧に指導し、教え合いの活動を重視することで、全員が技能を習得できるようにする。 ・教科書にある内容を見たり、ワークシートにまとめたりするだけではなく、実践を通して活動させる。「できた。」「作った。」という手応えを感じられる指導を行うことで、学習の理解を深め、実生活に活かせるような指導を重ねていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体育	知識・技能			・「知識・技能」については、コロナ禍の影響もあり、実施できていない領域の運動技能が著しく低い。一方で生理学的な体力は、さほど低くない印象である。 ・「思考力・判断力・表現力」については、グループなどで課題解決に向けて積極的に話し合っているが、課題をもとに作戦を考えたり、練習を工夫したりする意識は乏しいように思われる。 ・「主体的に学習に取り組む態度」では、学習の準備や勝敗を受け入れる態度など、よく身に付いている。	・技能については、それぞれの技術を短期間で向上できるよう、体系的かつ確定的な指導を実施するとともに、多様な児童のニーズに対応した場づくりを行う。 ・領域ごとの運動に関する特性を児童に理解させ、それらを応用的に作戦や練習に取り入れられるよう、既習事項をもとに学習を展開していく。 ・学習に取り組む態度の良さを生かし、体育科における汎用的スキルとしての理解を児童に促すことで、日常生活にもその態度を意識させる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別の教科道徳				・価値観について理解している場面が見受けられ、自分と他人との違いに気が付いている児童もいる。 ・将来に向けて夢をもつことなど、未来の自分について考えることが苦手な児童もいる。 ・自分が得意なことなど、自分を振り返ることが苦手な児童もいる。	・教材を通し、自己を見つめ、物事を多角的にとらえることで様々な考え方に触れられるように指導する。自分に振り返る活動を通して、日常生活にも生かせるように指導していく。 ・対話的な活動を通して、様々な考え方に触れることで、自己の道徳的価値を見つめ直す機会を多くつくっていく。
外国語	知識・技能			・「知識・技能」については、学習した単語を聞き取る力は身に付いており、日本語と英語の発音の違いなどについてもよく理解している児童が多い。 ・「思考力・判断力・表現力」については、アルファベットを正しく書くことについての定着が図られてきた。一方で、自分の考えを文で表現することに課題がある。 ・「主体的に学習に取り組む態度」では、大きな声で英語を発音したり、積極的にアクティビティに取り組む姿勢が見られる。	・単語だけでなく、簡単な文を聞いたり、発音をまねて言ったりする機会を増やし、一層の知識の定着を図りたい。 ・自分が表現したい文を作成する機会を単元のまとめだけでなく、複数回設定し、「書くこと」の素地を養っていく。 ・英語を発音することに対する発達の抵抗感が表出する前に、英語でのコミュニケーションを一般化していきたい。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別活動				・学級会では、話し合いの仕方が定着している。友達の見解を受け入れたり、双方のよいところを理解したりする態度を育むことが今後の課題である。 ・学級での生活においては、明確な自分の目標を立てる児童がいる一方、具体的に目標を立てられず、日頃の生活に反映されない児童もいる。	・学級会では、事前の活動を充実させ、児童の動機付けを高める。 ・学級会後は、児童とともに活動をふりかえるなど、終末の動言を適切に行う。 ・学級での生活においては、問題意識を高められるように事前に課題を提示する。個人目標を児童同士が見合い、互いに高め合えるような風土を育む。
総合的な学習の時間	知識・技能			・身近な事象から具体的な課題をつかむ児童はあまり多くない。社会の一員としての自覚をもち、自分が社会をよりよく変えていく力になるということを実感できるようにしていくことが改善の課題である。 ・ものごとの探究方法として、安易にインターネットに頼る傾向があるが、情報ソースの信頼性についての理解は十分ではない。求める情報を書籍から見つけ出す力も付けていく必要がある。	・自分の生活や体験から、なぜだろう？という疑問や、事象に対する自分の考えを大切にしていける。更に、調べたり、解決策を考えたりする活動につなげ、主体的な探究の体験を重ねていけるように指導していく。 ・書籍を探す、インタビューや手紙を使った間接的な調査、実際に行き取材をするなど、それぞれの方法の良さを生かし、選択できるようにする。一人1台端末を使用するに当たり、インターネット・リテラシーの理解を深め実践に生かす。また、インタビューやフィールドワークなど、自分の足で情報を収集する方法も知らせ、体験させていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				

令和4年度・日野市立仲田小学校 第6学年 授業創造プラン

	観 点	全国学力調査		児童の実態・よさと課題 （【】の記述は、東京都「児童生徒の学力向上を図るための調査」の結果）	課題を克服するための授業改善の具体的な方法 力を入れている学力向上のための取組
		仲田小	全国平均		
国語	知識・技能	74.1	70.5	・「読むこと」について、登場人物の心情を想像しながら、内容の大事などところを読み取ることができる児童が多い。 ・「書くこと」については苦手意識をもっている児童が多い。自分の考えはもっているものの、自分の立場や意図を明確にしながら文章に表すことが難しい。また、互いの文章の良さに気付いたり、その文章に対する感想や意見を伝え合ったりすることが苦手である。 ・【都の調査では「他の人が書いた文章の良い点を取り入れて書くようにしている」という欄で、当てはまるの割合が都平均を約7％下回っている。】 ・話すことにおいて、自分の考えの根拠を明確にして話すことを継続して学習している。しかし、個人差があり、発言する児童が偏ってしまう傾向がある。 ・「聞くこと」において、途中で聞いて理解した気持ちになっってしまう、最後まで聞いて考えることが難しい児童がいる。 ・「読むこと」や「話すこと」は、得意な児童が多く、学力調査の結果も平均を上回っている。	・書くことにおける苦手意識が課題である。書き方の具体的な指導を通して、書くことの楽しさを感じられるようにする。 ・文法に関する言語事項は、ねらいを明確にして「何が分かれればよいのか」という重点を絞って指導を行う。学習後は、練習問題を解き、学習内容の定着を図る。 ・漢字は、個人差が大きくはじめから諦めてしまう児童も見られる。日々の漢字テスト、定着を確認するための小テストでは、間違えた問題を大切にして習熟を図るよう努める。 ・読書を励行して読書の習慣を定着させ、読み取る力を高めていく。
	思考力・判断力・表現力	68.5	62		
	主体的に学習に取り組む態度				
社会	知識・技能			・「知識・技能」が十分定着しておらず、歴史上の人物とその業績が正しく結び付けられない傾向がある。 ・思考・判断・表現では、学んだ知識や資料等から、史実が起こった理由や因果関係を説明することに課題がある。教科書や資料の情報（文章やグラフ等）を読み取る際、分かったことを整理しまとめる過程で、どの情報を取捨選択するべきか分からず、まとめきれない児童が多い。 ・【都の調査では、「社会の学習はどれくらい得意ですか」の項目で、得意と答えた児童が都の平均より約5％上回っていた。】 ・「主体的に学習に取り組む態度」では、歴史領域に興味をもち、すすんで取り組もうとしている児童が多い。	・基礎的な知識・理解を深めることができるよう、誰が、どのような理由でどんなことをしたのかを明確にするとともに、その内容や背景となる暮らしなどが、実感を伴って理解できるように、資料の内容や提示の仕方、発問を工夫していく。 ・得た知識から時代の流れを考えさせたり、なぜそうなったのかという理由を考えさせたりする学習を取り入れ、知識を相互に関連付けて、より深く理解させるよう配慮する。 ・主体的に取り組めるように学習の見通しをもたせたり、学習したことを振り返り、日常生活にどのように生かすことができるのかを考えられるように、授業改善していく。 ・調べ学習の際には、目的意識をはっきりさせたり、効果的なノートまとめ方を随時指導することで、情報の取捨選択ができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
算数	知識・技能	70.5	68.2	・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」共に、全国平均を上回っている。全体の特徴として、算数が得意な児童と苦手な児童との差が大きく、中間層の児童が少ない。 ・学力調査の結果から、全国平均よりも下回っているのが、資料活用、文章問題（除法や割合）であった。 ・【都の調査では「問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている」の項目で、当てはまる児童が28.6％であった。】	・算数に苦手意識のある児童には特に、基礎的・基本的な事項を確実に習得できるように、既習事項の確認を含めて、丁寧に授業を進めていく。また、習熟度別授業では、児童の習熟度に合わせて、授業の内容を考えさせていくようにする。 ・基礎・基本的な知識・技能を身に付けさせるために、単元の最後には復習の時間をとるなどの授業改善を進める。特に全国平均よりもポイントが下回っている資料活用に関しては、他教科とも連携した指導を行う。また、除法の文章問題に関しては、整数・小数・分数の練習問題に取り組む。 ・ICT（デジタル教科書等）を活用し、授業の流れに見通しをもてるようにしたり、スモールステップで授業を進めたりすることで児童が達成感をもてるように指導を行っていく。
	思考力・判断力・表現力	57.4	56.7		
	主体的に学習に取り組む態度				
理科	知識・技能	60.8	62.5	・実験や観察等、理科の学習活動に意欲的に取り組む姿が見られる。 ・【都の調査では「理科の学習はどれくらい得意ですか」の項目で、「得意」「どちらかといえば得意」の割合が80％を超えている。】 ・「思考力・判断力・表現力」では、予想や仮説を立てる際、生活体験や既習事項を活用しながら考えることができている。考察の場面では、実験結果から分かることを大まかに捉えることはできているが、じっくりと結果を分析し、深く考察する力は不十分である。 ・学力調査の結果から、人の体のしくみについては、臓器の名前と働きが一致せず、理解できていない児童が多かった。 ・実験や観察などで得た結果から自分の考えをもつことが苦手である。 ・メスリンダーなどの器具の名称や使い方を理解していない児童が多く見られる。	・自然現象と出合いを大切にしながら、実験に使用する器具の名称や使い方を理解するとともに、実際に実験して確かめることの楽しさを感じられるようにしていく。 ・結果には事実をそのまま書き、考察に結果から考えられることを記載するなど、ノート指導を十分に行っていく。 ・実験結果を分析する時間や、全体で共有する時間を十分に確保することで、的確に考察できるようにしていく。 ・見方・考え方を活用した声掛けを行うことで、児童が考える視点をもちやすくする。具体的には「質的・実体的な視点、量的・関係的な視点、共通性・多様性の視点、時間的・空間的な視点」を、児童がもてるようにし、「比較する・関係付ける・条件を制御する・多面的に考える」考え方をを使って、自分の考えを自由に表現できるようにしながら、思考力・判断力・表現力を高めていく。
	思考力・判断力・表現力	68.4	63.7		
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能			「知識・技能」に関しては、リコーダーの思っかいいに気を付け、美しい音色を求めようとする姿勢が見られる。しかし、指先の感覚が備わっていないかったり、器用ではなかったりする児童もいる。	・リコーダーの指導の際に正しい姿勢と思っかいいを確認していく。また技能が追い付かない児童に対して言葉掛けを行ったり、休み時間の間に個別に練習させたりする。
	思考力・判断力・表現力			「思考力・判断力・表現力」に関しては、音楽を聴いて思考したり、想像したりしていることはあるが、人前発表することに苦手意識がある児童がいる。音楽の要素を感じ取り、その良さや面白さを味わうことのできる児童が多い。 「主体的に学習に取り組む態度」に関しては、友達の発言や演奏の良さを認めてあげられる児童が多い。また音楽活動に対して、意欲や関心の高い児童が多い。	・事前に近くの児童同士で話し合わせ、意見に対する自信をもたせたり、拳手を合わせたり、音楽の要素を授業の中で共通理解し、児童が鑑賞の良さを共有できるようにしていく。 ・小グループで活動する時間を取り入れ、友達と協働的な学びができるようにする。また様々な題材や教材を取り入れ、多角的な視点から音楽活動を豊かなものにさせる。
	主体的に学習に取り組む態度				
図画工作	知識・技能			「知識・技能」については、既習の道具の扱い方には自信をもっている児童が多い。自分の表したいこと、材料や道具を選ぶことができる。 「思考力・判断力・表現力」については、豊かに発想できる児童がいる反面、既成の記号的表現から抜け出せず、表現が拙い児童も半数いる。 「主体的に学習に取り組む態度」については、意欲的に夢中になって取り組んでいる児童が多い。しかし、もう一歩進んで表現を深めたいということに対しての関心は弱い。	・自分のイメージに合わせて、材料や道具を自分で選択し、使いこなせるような題材に取り組ませる。また、新しい用具や材料を扱うときは安全面を配慮し丁寧に指導することで児童が安心して活動できるようにする。 ・色や形や素材そのものでいう造形遊びなどの活動を取り入れ、経験値を増やし、表現の柔軟性を身に付けさせる。 ・メリハリや緩急を付けて、一つのテーマについて多面的に深めていく面白さを学ばせる。また、定期的に鑑賞会を行い、自分の表現に自信をもたせる。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
家庭	知識・技能			・洗濯の実習や、調理実習に意欲的に取り組む児童が多く、家庭生活への関心や意欲の高さが感じられる。 ・手先の不器用さから裁縫の作品などを適切に仕上げるのが難しい児童がいる。 ・学習したことやそこから考えたことを日常の生活でも取り入れたり、実践したりすることに結びつきづらい。	・学習内容に関連して、日常生活に密着した事象や興味をもてる事象を取り入れるなど、授業展開を工夫する。 ・主体的に授業に取り組ませるため、授業の最初と終わりに、本時のめあてと振り返りを記入させることで、学習の見通しや、自分が学んだ事を自覚しながら学習を進められるようにする。 ・家庭科で学んだことを実生活に生かす機会を保障することで、知識だけではなく、行動につながるようなことができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
体育	知識・技能			・運動の特性や技能ポイントを理解して、知識として身に付けることができた。練習を工夫することで、技能を高めることができた。 ・ポイントを見合うという形式で、お互いの技能が少しずつ高まった。 ・運動への意欲と技能については、二極化が大きくなっている。	・技能を向上させるためのポイントを指導することで、より自分の技能を高めていけるように指導する。 ・自分の技能が向上したことを自覚できるような場面を設定することで、主体的に取り組めるようにする。 ・お互いに技能が高められるような指導の工夫をしていく。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
外国語	知識・技能			・様々な人の生き方や行動に触れ、それをもとに、自分の行動や将来の希望について考えている。 ・考えたことをすすんで書いたり互いの意見を聞き合ったりしている。 ・意見を発表する児童が一定の児童になつてくることがある。 ・道徳的価値に気付いたり深めたりしても、実践意欲に結び付いていないところがある。	・主体的に取り組めるよう、児童の生活に関連する導入を工夫したり、発問を工夫したりする。 ・一人1台端末を活用した対話的な学習を取り入れ、相手の考えを聞くことで、より多様な考え方に気付く、学びが深まるようにする。 ・授業中での振り返りを通して、自分の生活や行動と結び付けて考え、学んだことを実際に生かしていく気持ちができるようにする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
特別活動	知識・技能			・お互いの考えを聞き合うことで、自分の考えを深めることができている。 ・自分の意見を主張することに消極的な時が見られる。	・対話的な活動を積極的に取り入れることで、友達の意見をききかけに、自分の意見を深められるようにする。 ・ジャムボードなどの一人1台端末にある機能を活用することで、全員が自分の意見や考えを発信しやすい環境を作ること、意見を主張しやすくする。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				
総合的な学習の時間	知識・技能			・日光についての調べ学習では一人1台端末を活用し取り組んだ。学習の過程で試行錯誤し、より相手に伝わりやすいものを自分の言葉で作り上げていくという学びが深まった。 ・日光についての発表などで、プレゼンテーションを行う力が身に付いている。一方で、個人差が大きく、声の出し方や相手に伝わる話し方を身に付けることが課題である。	・自分たちの手で生活をよりよく変えていけるという体験を取り入れ、身近なことへの課題意識を育てていく。 ・プレゼンテーションの構成をタブレット端末を活用し考えることで、より相手に伝わりやすい内容にできるように指導する。
	思考力・判断力・表現力				
	主体的に学習に取り組む態度				